

2. 結果と考察

昭和53年4月下旬から7月中旬にかけて採捕したハマフエフキ成魚13尾は摂餌状況も良く順調に飼育されたが昭和53年7月22日に、原虫の寄生が原因と思われる魚病により全滅した。

表-2. 延縄による採捕状況(7月~10月)

採捕年月日	尾叉長	体重	採捕漁具	採捕場所	備考
昭和53年	(cm)	(g)			
7月29日	40.5	1.170	底延縄	川平湾	養成中
"	36.5	690	"	"	"
8月10日	37.8	920	"	"	"
"	36.0	850	"	"	"
8月11日	46.0	1.960	"	"	"
8月12日	37.0	950	"	"	"
9月13日	36.5	880	"	"	"
10月3日	38.0	1.050	"	"	"
"	34.5	780	"	"	"
10月4日	36.0	900	"	"	"
10月5日	39.8	1.120	"	"	"

そのため、あらたに7月下旬から10月下旬までに表-2に示すとおり11尾を採捕し養成を行なった。しかし、この親魚群は産卵開始時期(2~3月)になっても産卵する様子がなく、昭和54年4月28日まで自然産卵は確認できなかった。天然海域におけるハマフエフキの産卵魚の大きさは雌で尾叉長46cm以上、雄で48cm以上とされ、八重山海域では多少、小さい傾向があるとされている。

昭和52~54年度の養成親魚の大きさを表-3に示したが尾叉長が45cm以上の親魚の尾数をみると昭和52年度が7尾、53年度が5尾であったのに対し、今年度は1尾にすぎなかった。これらのことから今年度は未成熟魚が多数を占め産卵可能な親魚はわずか1尾しかおらず、そのために産卵まで至らなかったものと思われた。

表-3. 養成親魚の大きさ

No.	昭和52年度			昭和53年度				昭和54年度	
	FL	BW	GW	FL	BW	GW	♀♂別	FL	BW
1	44.0	1.550	36	49.0	2.250	67.0	♂	41.0	1.300
2	49.5	2.050	58	52.5	2.570	56.0	♀	39.0	1.110
3	43.0	1.350	8	47.5	2.035	70.0	"	38.0	1.050
4	38.0	940	11	46.0	1.680	26.0	"	37.0	980
5	45.0	1.710	20	43.0	1.510	19.0	"	37.5	970
6	47.5	2.150	74	46.0	1.765	36.0	"	40.0	1.280
7	46.6	1.750	30	43.5	1.480	22.0	"	36.0	900
8	47.0	1.820	45	43.0	1.640	35.0	♂	51.0	2.200
9	47.5	1.850	47	42.0	1.355	32.0	"	41.0	1.380
10	49.5	2.100	54	39.6	1.200	12.0	♀	39.0	1.200
11				39.3	1.050	26.0	"	38.0	990
12				40.4	1.150	17.0	"		

測定月日 昭和52年4月11日

昭和53年4月15日

昭和54年4月28日